



創造者である「神のかたち」に似せて造られていながら、神に背いて自分を神のようにして生きることを選んだ人間を、本来の姿に回復するために神はイエスキリストを救い主として与えてくださいました。私たちはイエスキリストによって、神の子どもとされ、その救いはやがて神の国において完成されます。パウロによれば、私たちも、被造物も、その時を「うめきながら」待ち望みつつ生きています。そしてそのすべての歩みにおいて聖なる御霊がともにおられます。

うめきながら待ち望んでいる

① 私たちは、からだが完全に贖われることを

“それだけでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだを贖われることを待ち望みながら、心の中でうめいています。私たちは、この望みとともに救われたのです。目に見える望みは望みではありません。目で見ているものを、だれが望むでしょうか。”23-24

“死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらされ、卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらされ、弱いもので蒔かれ、力あるものによみがえらされ、血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。”1 コリト 15:42-

“キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。”ピロ 3:21

② 被造物は、神の栄光の自由が与えられる時を

“被造物は切実な思いで、神の子どもたちが現れるのを待ち望んでいます。…被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由にあずかります。私たちは知っています。被造物のすべては、今に至るまで、ともにうめき、ともに産みの苦しみをしています。”

19-22

“なぜなら神は、ご自分の満ち満ちたものをすべて御子のうちに宿らせ、その十字架の血によって平和をもたらし、御子によって、御子のために万物を和解させること、すなわち、地にあるものも天にあるものも、御子によって和解させることを良しとしてくださったからです。”

30ヤ 1:19-20

③ 聖霊は、私たちのためにとりなしつつ

“同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなししてくださるのです。”26